

2021年 ニュースレター 9月号

iVEAT 福岡 Veterinary Specialty Practice (VSP)



8月の活動

8月は緊急事態宣言かでしたが、久しぶりに千葉で継続教育セミナーをさせていただきました。参加者の皆さんはワクチン接種が終わっていなかったようですが、私は2回目が終わって2週間が経過していましたので、移したり、移されたりはなかったようです。ただ、羽田経由はやはり心配でした。羽田の後にはリムジンだけだったので、密は避けることができました。

さて、IVRA（世界獣医放射線協会）の日本代表理事に任命されてから、あまり、日本での活動はできていませんでした。日本には日本獣医画像診断学会があり、本来なら、学会が世界協会に参加していただければ良いのですが、今まで通り、有志での参加となり、今回、正式に日本獣医画像研究会（Japanese Society of Veterinary Imaging: JSVI）として、活動を継続していくつもりです。この研究会では、英語を中心として、国内外の継続教育への協力をしていきたいと思えます。まずは、3年会費の15USDを支払い、登録していただける会員を募ります。今年、開催されるはずだったアイルランド、ダブリンでの世界大会は来年に延期されました。それまでに、日本での会員を確定させ、3年会費を支払う予定です。

また、これは個人的な努力となりますが、英語での獣医放射線学の獣医大学生向け教材を動画形式でアップしたいと考えています。iVEATとの公私混同にならないように、役員の先生を決め、ご意見を伺いながら、運営したいと思えます。

アメリカ獣医放射線学会認定専門医 宮林 孝仁

9月のセミナー予定

残念ながら、コロナ感染症の収束はまだ先のようなので、ワクチンパスポートなどが発行される予定の12月までは、対面セミナーはできないと思えます。ただ、10月には若い先生方のワクチン接種も終わると思われるので、2回接種後、2週間が経過されている先生を対象に、腹部超音波集中実習を実施することを計画しています。

また、JSVIの活動の一環として、英語のセミナーを開催し、同時に、日本語でのセミナーもアップしていきたいと思えます。当分の間は、無料になると思えます。

詳細はホームページをご覧ください。

[Http://www.iveat.jp/index.html](http://www.iveat.jp/index.html)